

## 県内経済は、世界的な景気の減速を背景として、生産活動は大幅に減少、雇用情勢は悪化が続き個人消費も低迷するなど、一段の悪化が続いている。

### 1. 平成21年3月の県内経済

消費動向をみると、大型小売店販売額（全店舗ベース）は、飲食料品が堅調だったものの、春物衣料品や身の回り品が低調に推移、4ヵ月連続で前年を下回った。乗用車新車販売は、大型、中小型乗用車、軽乗用車がいずれも減少し、全体では8ヵ月連続で前年を下回った。生産活動は、自動車、電気機械関連産業を中心に、多くの業種で前年を下回る動きが続いている。投資動向をみると、公共工事前払保証取扱は、国、市町村などからの発注増により、件数、請負金額が2ヵ月ぶりに前年を上回った。建築着工（民間・非居住用）は、工事費予定額が2ヵ月連続で前年を上回った。新設住宅着工戸数は、分譲住宅が前年を上回ったものの、持家ならびに貸家が減少し、全体では5ヵ月連続で前年を下回った。倒産状況は、負債金額10百万円以上の企業倒産件数、負債総額が3ヵ月連続で前年を下回った。雇用情勢をみると、新規求人倍率、有効求人倍率（原指数）は、17ヵ月連続で前年を下回るなど厳しい状況が続いている。

#### 〔消費動向・減少〕

大型小売店販売額（全店舗ベース）は、飲食料品が堅調だったものの、春物衣料品や身の回り品が低調に推移、4ヵ月連続で前年を下回った。乗用車新車販売は、大型車、主力の中小型車が大幅減、軽自動車も減少し、全体では8ヵ月連続で前年を下回った。消費者物価指数は、前月比0.2%上昇し、6ヵ月ぶりに前月を上回った。前年同月比では0.5%下降し、2ヵ月連続で前年を下回った。個別企業の販売動向をみると、家電量販店は、冷蔵庫、洗濯機は堅調、薄型テレビが横ばい、パソコン、携帯電話、デジタルカメラなどは低迷しており、全体では前年を下回る水準で推移した。ホームセンターは、家庭用品、DIY商品、園芸植物、ペット関連などは堅調だったものの、エクステリア用品、灯油などの低迷が響き、全体では前年を下回る水準で推移した。旅行取扱額は、国内・海外の個人ならびに団体が、景気後退の影響などから前年を下回り推移した。

#### 〔投資動向・減少基調〕

公共工事前払保証取扱は、国、市町村などからの発注増により、件数、請負金額、保証金額はそれぞれ2ヵ月ぶりに前年を上回った。2月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数、床面積が前年を下回ったものの、工事費予定額は前年を上回った。3月の新設住宅着工戸数は、分譲住宅が前年を上回ったものの、持家および貸家が前年を下回ったことから、全体では5ヵ月連続で前年を下回った。

#### 〔生産活動・減少〕

2月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は、67.8（前月比△9.1%）と大幅に低下し、5ヵ月連続で前月を下回った。原指数も、66.5（前年同月比△36.7%）と7ヵ月連続で前年を下回った。3月の大口電力販売量は、電気機械、非鉄金属、輸送用機械、化学など主要大口需要先で前年割れが続いており、5ヵ月連続で前年を下回った。

#### 〔企業倒産・横ばい〕

負債金額10百万円以上の企業倒産状況は、倒産件数、負債総額が3ヵ月連続で前年を下回った。また、福島県信用保証協会の代位弁済状況は、件数、金額がそれぞれ2ヵ月ぶりに前年を下回った。

#### 〔金融動向・増加〕

3月末の預金残高は前年同月比+2.5%と25ヵ月連続で前年を上回った。貸出金残高も前年同月比+2.4%と9ヵ月連続で前年を上回った。

#### 〔雇用動向・悪化〕

新規求人倍率、有効求人倍率（原数値）は、17ヵ月連続で前年を下回った。また、季節調整値でみた新規求人倍率は、0.67倍（前月比+0.06%）、有効求人倍率は0.39倍（同△0.03%）となるなど、県内雇用情勢は厳しい状況が続いている。

県内経済動向の概要

	項目	前年同月比			前月比		
		1月	2月	3月	1月	2月	3月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	→	→	→	→	→	→
	乗用車新車登録台数	→	→	→	→	→	→
	消費者物価指数（総合）	→	→	→	→	→	→
投資動向	公共工事前払保証取扱保証請負金額	→	→	→	→	→	→
	建設着工棟数（民間・非居住用）	→	→	-	→	→	-
	新設住宅着工戸数	→	→	→	→	→	→
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	→	→	-	→	→	-
	大口電力販売量	→	→	→	→	→	→
企業倒産	企業倒産件数注2	→	→	→	→	→	→
	企業倒産金額注2	→	→	→	→	→	→
金融動向	預金	→	→	→	→	→	→
	貸出金	→	→	→	→	→	→
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）注3	→	→	→	→	→	→
	新規求人倍率（パート含む）注3	→	→	→	→	→	→

良化 → 良化傾向にあるがほぼ横這い ⇔ 悪化傾向にあるがほぼ横這い ⇐ 悪化 ↘  
 注1：前月比は季節調整値、前年同月比は原指数。注2：負債総額10百万円以上。注3：前月比は季節調整値。前年同月比は原指数。

2. 県内経済動向

— 消費動向 —

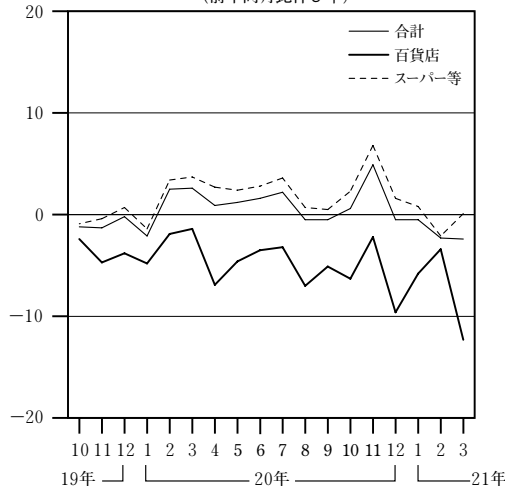
**大型小売店** 3月の県内大型小売店の販売額は、飲食料品が堅調だったものの、婦人・子供服などの春物衣料品や身の回り品が低調に推移し、全店舗ベースで194億10百万円（前年同月比△2.4%）と4ヵ月連続、既存店ベースでも同3.7%減と4ヵ月連続で前年を下回った。（注：既存店とは調査月において当月と前年同月でともに存在した事業所の数値。）

業態別に内訳をみると百貨店は、主力の婦人服などの春物衣料品を始め身の回り品、飲食料品などが低調に推移し、全店舗ベースで35億13百万円（同△12.3%）と、既存店ベース（同△12.3%）とともに19ヵ月連続で前年を下回った。

スーパーは、春物衣料品や家庭用品が低調だったものの、主力の飲食料品が堅調に推移、全店舗ベースで158億96百万円（同+0.1%）と2ヵ月ぶりに前年を上回った。一方、既存店ベースでは、同1.5%減と4ヵ月連続で前年を下回った。

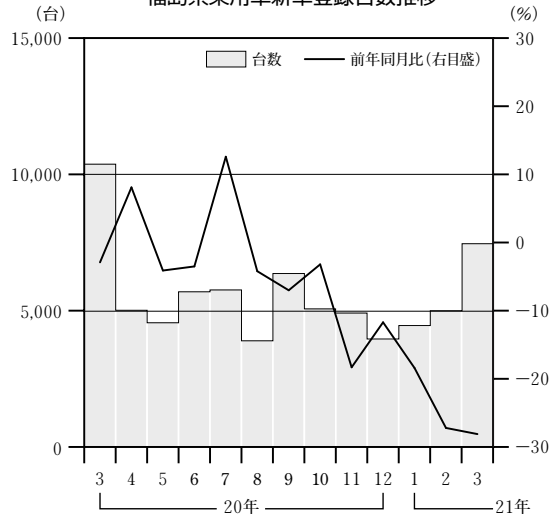
**乗用車販売** 3月の乗用車新車登録台数（軽乗用車含）は、合計で7,519台（前年同月比△28.1%）と大幅に減少し、8ヵ月連続で前年を下回った。車種別でみると、大型乗用車が674台（同△48.9%）、主力の中小型乗用車が3,619台（同△33.9%）

福島県大型小売店販売額（全店舗）  
（前年同月比伸び率）



（資料：経済産業省）

福島県乗用車新車登録台数推移



（資料：福島県自動車販売店協会）

と、それぞれ8ヵ月連続、軽乗用車が3,226台（同△11.9%）と4ヵ月連続でいずれも前年を下回った。

3月の乗用車中古車販売台数（軽自動車は名義変更を含む）は、合計で16,978台（前年同月比△3.4%）と6ヵ月連続で前年を下回った。車種別にみると大型乗用車は4,653台（同△4.9%）と、2ヵ月連続で前年を下回った。また、中小型乗用車は6,846台（同△2.9%）、軽乗用車は5,479台（同△2.7%）で、いずれも6ヵ月連続で前年を下回った。

**消費者物価指数** 3月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成17年=100）でみると、101.0（前月比+0.2%）となり、6ヵ月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比では0.5ポイント下がり、2ヵ月連続で下降した。

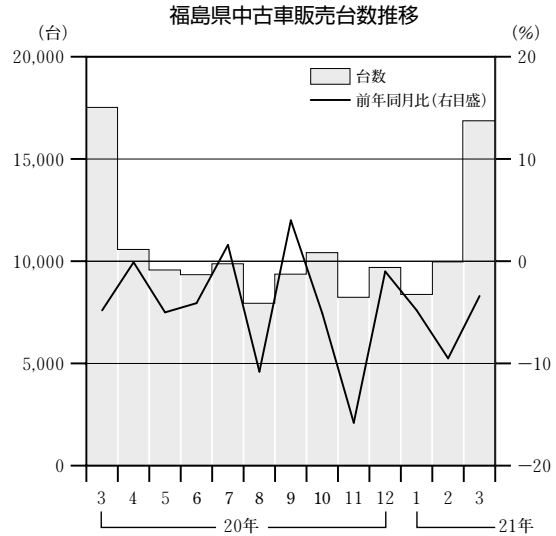
費目別の指数動向をみると、「被服および履物」が93.4（前月比+2.6%）、「交通通信」が97.5（同+0.9%）、「教養娯楽」が97.2（同+0.5%）、「食料」が105.7（同+0.2%）、「住居」が99.3（同+0.1%）など5つの費目で前月比上昇した。一方、「光熱水道」が108.5（同△0.8%）、「家具・家事用品」が94.9（同△0.6%）、「保健医療」が97.3（同△0.3%）など3つの費目で前月比下降した。また、「教育」は102.7で前月と変らなかった。

**家電量販店** 3月の売上状況は、冷蔵庫、洗濯機は堅調、薄型テレビが横ばい、パソコン、携帯電話、デジタルカメラ、DVDレコーダーなどは低迷しており、全体では前年を下回る水準で推移した。

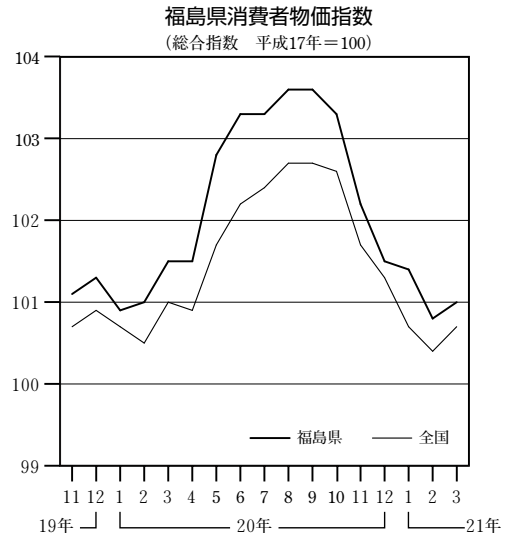
**ホームセンター** 3月の売上は、家庭用品、DIY商品、園芸植物、ペット関連などは堅調だったものの、エクステリア用品や灯油などの低迷が響き、全体では前年を下回る水準で推移した。

**旅行** 3月の旅行取扱額実績は、景気後退の影響などから、国内・海外の個人ならびに団体は前年を下回り推移した。

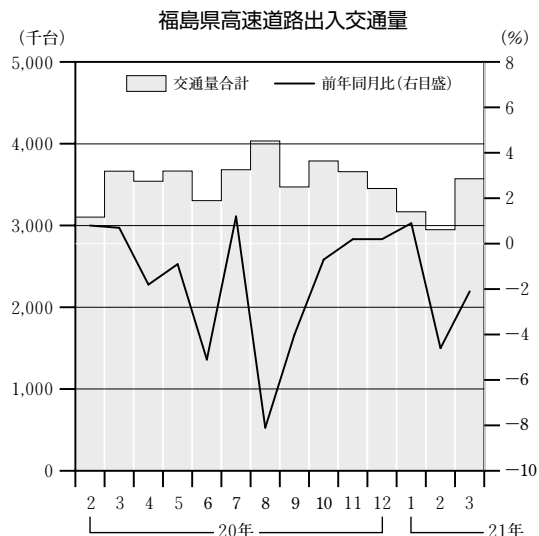
**高速道路** 3月の県内自動車道通過台数は3,598,284台（前年同月比△2.1%）と2ヵ月連続で前年を下回った。路線別にみると、東北自動車道（白河



(注) 軽自動車は名義変更台数含む  
資料：(社)日本自動車販売協会連合会 福島支部  
(社)全国軽自動車販売協会連合会



(資料：総務省統計局)



(資料：東日本高速道路(株)東北支社)

IC～国見 IC) は2,152,330台 (同△2.9%) と2ヵ月連続で減少、磐越自動車道(いわき三和 IC～郡山東 IC) は254,496台 (同△0.7%) と6ヵ月ぶりに減少、磐越自動車道(磐梯熱海 IC～西会津 IC) は502,572台 (同+1.6%) と2ヵ月ぶりに前年を上回った。常磐自動車道(いわき勿来 IC～常磐富岡 IC) は688,886台 (同△3.0%) と17ヵ月連続で前年を下回った。

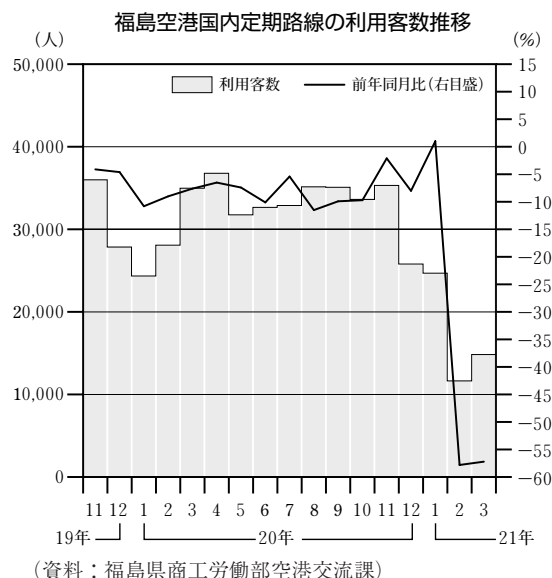
**福島空港** 3月の福島空港国内定期路線の利用状況は、平成21年1月の日本航空の撤退に伴う大阪(関空発着)・沖縄両路線の廃便により、15,090人(前年同月比△57.2%)と前年を大きく下回った。路線別にみると、札幌便は7,661人(同△20.6%)と5ヵ月連続、大阪便は7,429人(同△62.1%)と15ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。一方、国際定期路線の利用状況は、2,678人(同△48.9%)と5ヵ月連続で前年を下回った。路線別にみるとソウル便は2,040人(同△49.4%)と5ヵ月連続、上海便は638人(同△47.0%)と14ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。また、国際チャーター便は、951人(同△82.5%)と5ヵ月連続で前年を下回った。

## —— 投資動向 ——

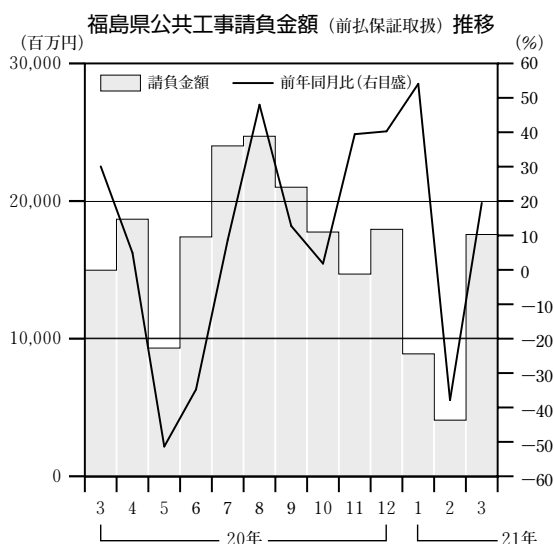
**公共工事** 3月の公共工事前払保証取扱は、国、市町村などからの発注増により、件数が292件(前年同月比+30.4%)、請負金額が176億48百万円(同+17.9%)、保証金額が66億87百万円(同+22.3%)となり、それぞれ2ヵ月ぶりに前年を上回った。

主な発注者別の請負金額は、国が前年比27億43百万円増加し、104億51百万円(同+35.6%)となった。また、県は同5億78百万円減少し、20億9百万円(同△22.3%)、市町村が同11億4百万円増加し、44億61百万円(同+32.9%)となった。

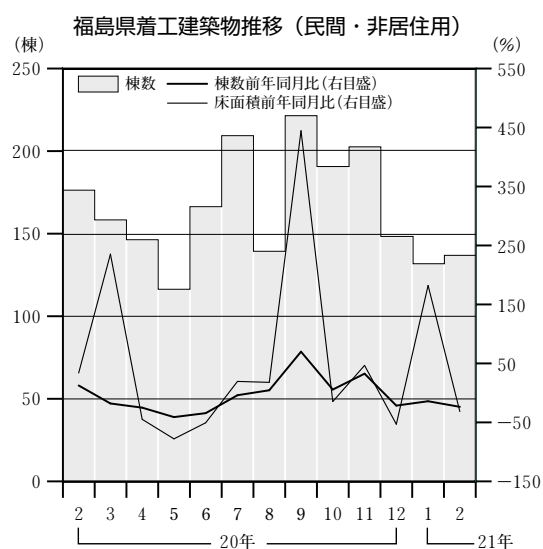
**設備投資** 2月の建築着工(民間・非居住用)は、棟数が138棟(前年同月比△22.0%)と3ヵ月連続で、床面積は53,084㎡(同△30.0%)と2ヵ月



(資料：福島県商工労働部空港交流課)



(資料：東日本建設業保証(株))



(資料：国土交通省)

ぶりに前年を下回った。一方、工事費予定額は80億5百万円（同+1.6%）と2ヵ月連続で前年を上回った。

3月の建築物確認件数（計画変更を除く）は、658件（前年同月比△13.6%）と6ヵ月連続で前年を下回った。建築物別にみると、1～3号建物（一定規模以上の建築物が対象）が114件（同△12.3%）、4号建物（小規模な木造・非木造住宅などが対象）が544件（同△13.9%）と、それぞれ6ヵ月連続で前年を下回った。「構造計算適合性判定合格件数」は19件と前月比11件増加し、3ヵ月ぶりに前月を上回った。

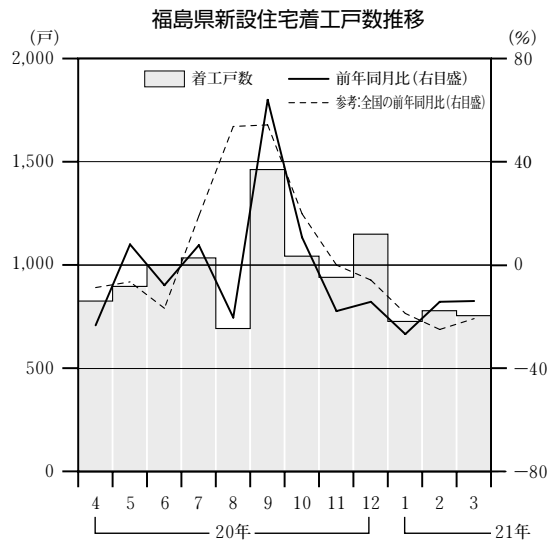
建築物着工の先行指標である3月の建築物申請件数は、695件（同△18.6%）と5ヵ月連続で前年を下回った。建築物別にみると、1～3号建物は127件（同△33.2%）と6ヵ月連続、4号建物は568件（同△14.5%）と5ヵ月連続で、それぞれ前年を下回った。「構造計算適合性判定申請件数」は12件と、前月比2件増加し2ヵ月連続で前月を上回った。

**住宅建設** 3月の県内新設住宅着工戸数は、759戸（前年同月比△13.9%）と5ヵ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」は393戸（同△27.6%）と2ヵ月ぶりに、「貸家」は222戸（同△1.3%）と5ヵ月連続でそれぞれ前年を下回ったが、「分譲住宅」は144戸（同+27.4%）と6ヵ月ぶりに前年を上回った。分譲住宅のうちマンションは、86戸（同+65.4%）と6ヵ月ぶりの実績計上となった。

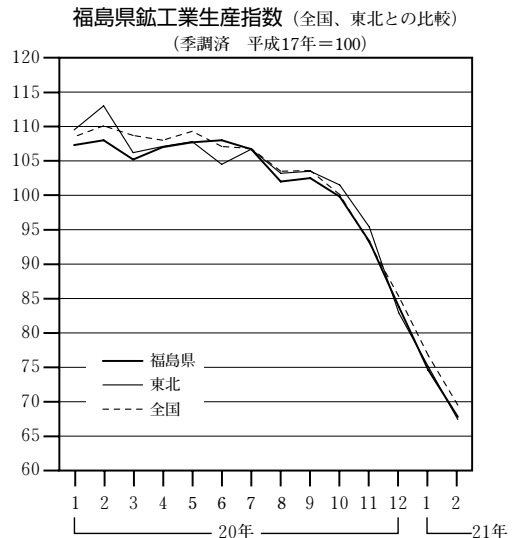
—— 生産活動 ——

**鉱工業生産指数** 2月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数でみると67.8（前月比△9.1%）と大幅に低下し5ヵ月連続で前月を下回った。原指数も66.5（前年同月比△36.7%）と同様に大幅な低下となり7ヵ月連続で前年を下回った。

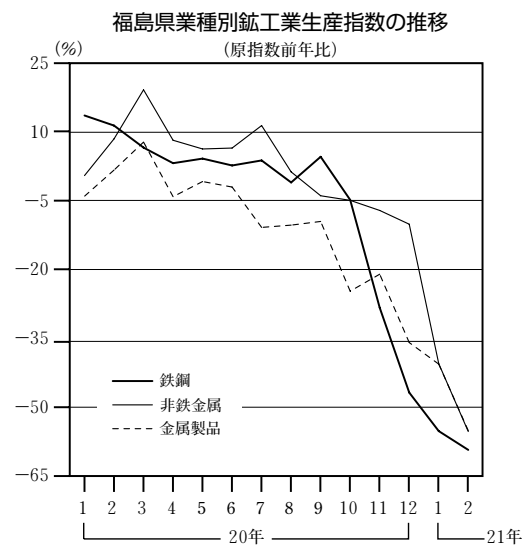
上昇および低下した主な業種別（季節調整済指数）では、繊維工業で73.1（前月比+20.2%）、



(資料：国土交通省)



(資料：福島県企画調整部統計調査課)



(資料：福島県企画調整部統計調査課)

食料品・たばこ工業で81.9（同+10.5%）、輸送機械工業38.1（同+1.1%）と3業種で上昇した。一方、金属製品工業で44.8（同△24.5%）、一般機械工業で57.4（同△21.3%）、非鉄金属工業で52.7（同△16.9%）など17業種で低下した。

**化学** 3月の食品包装フィルム用合成樹脂やフッ素樹脂、医薬品は堅調だったものの、金属代替プラスチック、炭素繊維などは前年を下回る水準で推移した。酸化チタン（白色顔料、自動車用塗料向け）および電子材料（コンデンサー、リチウムイオン電池等材料）の生産は前年を大きく下回る水準で推移した。バリウム化合物（電子部品原料）の生産は、やや持ち直しの動きがみられた。

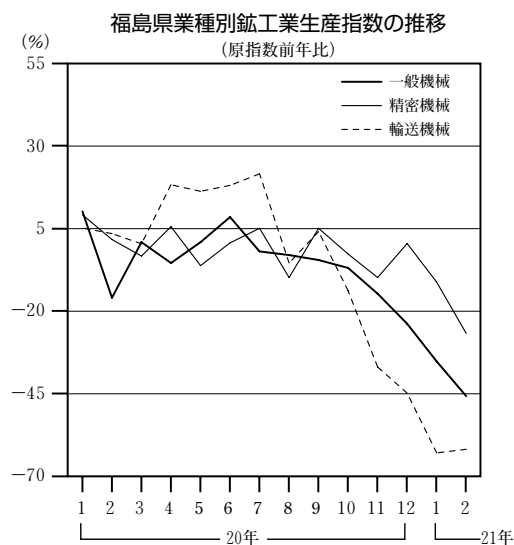
**鉄鋼・金属** 3月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材、半導体向け電子材がそれぞれ前年を大きく下回る水準で推移した。建機用鋳造品の生産は、前年を下回ったものの底打ちの兆しがみられた。車両用鋳造品は、新幹線、JR中央線・京浜東北線の更新需要および海外需要に支えられ、前年をやや上回る水準で推移した。船舶用バルブ部品、陸上プラント用バルブ部品は、ほぼ前年並みの水準で推移した。

**輸送用機械** 3月の自動車用鋳造品の生産は、海外向けが低迷、前年を大きく下回る水準で推移した。自動車用オイルシールの生産は、在庫調整の動きが緩和したものの、前年を下回り推移した。カーナビ・カーオーディオの生産は、自動車メーカーの生産調整の動きを受け、前年を大幅に下回る水準で推移した。

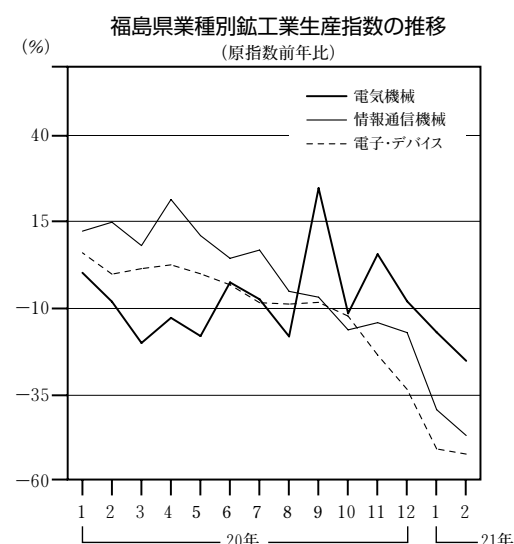
**電気機械** 3月の変圧器、配電盤、発電機は堅調、電熱炉、自動車モーターの生産は前年を下回る水準で推移した。

**情報通信機械** 3月の携帯電話中継局用マイクロ波通信機器の生産は、主力のインド向けが落ち込み、前年を下回る水準で推移した。衛星通信機器関連、OA関連機器の生産は、前年並みの水準で推移した。

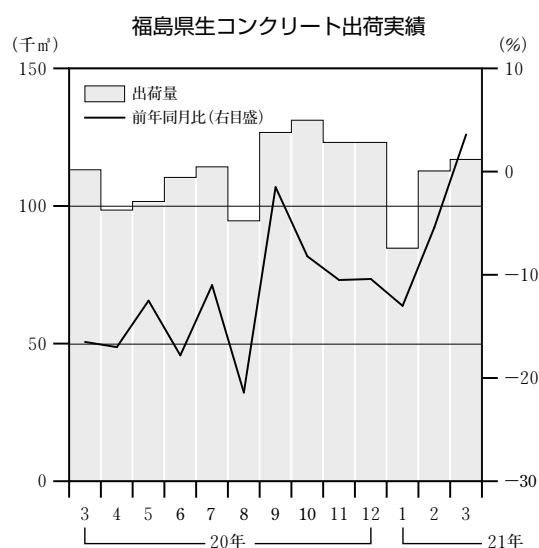
**電子部品・デバイス** 3月のLSI（大規模集積回路）の生産は、主力のAV・ゲーム機・家電、産



(資料：福島県企画調整部統計調査課)



(資料：福島県企画調整部統計調査課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)

業機器を始め、車載品、パソコン・OA、通信向け、携帯電話向けなど、総じて前年を大きく下回る水準となった。

**精密機械** 3月の医療用内視鏡の生産は前年を下回る水準で推移した。デジタル一眼レフカメラ用レンズは、前年並みの水準で推移した。

**紙・紙加工品** 3月の段ボールの生産は、IT製品向けが低迷、前年を大幅に下回る水準で推移した。感熱紙、インクジェット紙、ノーカーボン紙の生産も、前年を大きく下回る水準で推移した。

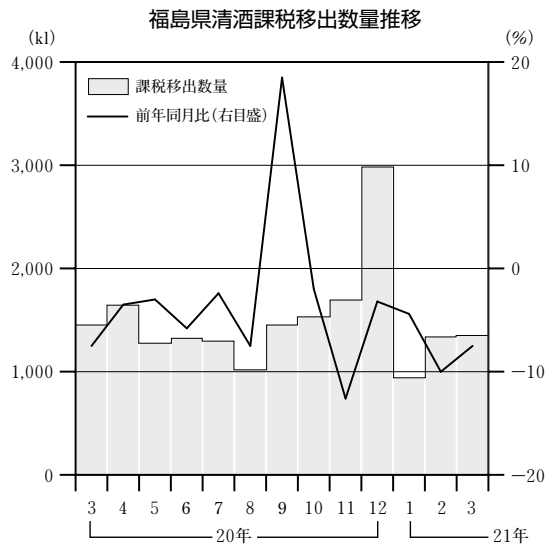
**窯業・土石** 3月の生コンクリート出荷量は、全体で117,631<sup>m</sup>（前年同月比+3.6%）と17ヵ月ぶりに前年を上回った。増加地区をみると、官公需では、白河地区で砂防工事、いわき地区で三和トンネル、港湾関係などにより増加した。また、民需では、県北および相双地区で高速道路工事、会津地区では工場新築工事などにより増加した。

**清酒** 3月の清酒移出数量は、1,362kl（前年同月比△7.5%）と6ヵ月連続で前年を下回った。タイプ別では、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が438kl（同+1.5%）と2ヵ月ぶりに前年を上回った。一般酒（特定名称酒以外の酒）は、924kl（同△11.2%）と6ヵ月連続で前年を下回った。

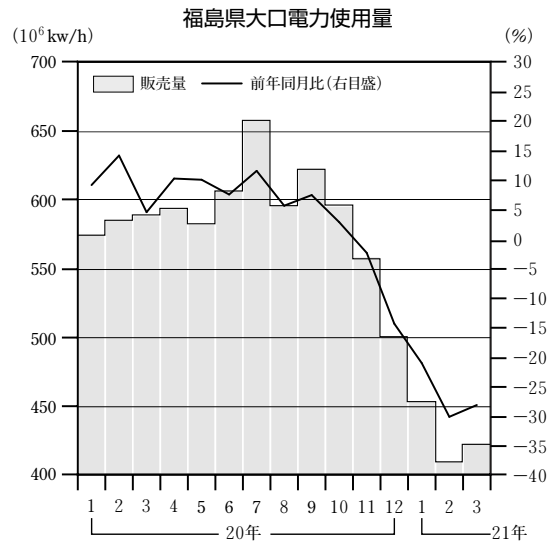
**化合繊維物** 3月のナイロンの生産はダウンジャケット（表地）向けを中心にほぼ前年並みの水準で推移した。ポリエステルも、紳士服、婦人服の裏地向けを中心に前年並みの水準で推移した。

**ニット** 3月のニットの生産は、国内需要の低迷から、受注・生産は低調な水準で推移した。

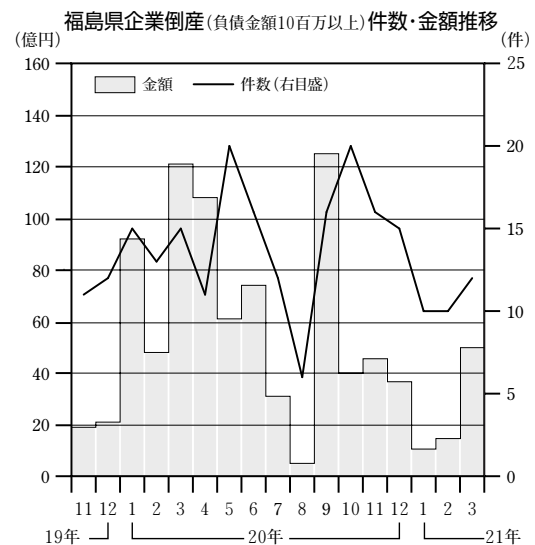
**大口電力** 3月の大口電力販売量は、423百万kw/h（前年同月比△28.1%）と5ヵ月連続で前年を下回った。大口主要販売先を業種別にみると、「電気機械」で104百万kw/h（前年同月比△18.0%）、「非鉄金属」で70百万kw/h（同△36.7%）、「輸送用機械」で37百万kw/h（同△39.3%）、「化学」で36百万kw/h（同△37.8%）、「一般機械」で22百万kw/h（同△29.4%）、「紙・パルプ」で16百万kw/h（同△48.3%）となり、それぞれ前年を下回った。



（資料：福島県酒造組合）



（資料：東北電力福島支店）



（資料：帝国データバンク福島支店）

—— 企 業 倒 産 ——

**企業倒産** 3月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、倒産件数が12件（前年同月比△20.0%）、負債総額が49億66百万円（同△59.0%）となり、それぞれ3ヵ月連続で前年を下回った。

倒産主因別内訳は、受注・販売不振10件、放漫経営2件となった。業種別内訳は、建設業が4件、製造業が3件、卸売業・小売業が各2件、サービス業が1件となった。地区別内訳は、浜通りが4件、県北、県南が各3件、会津が2件となった。

—— 金 融 動 向 ——

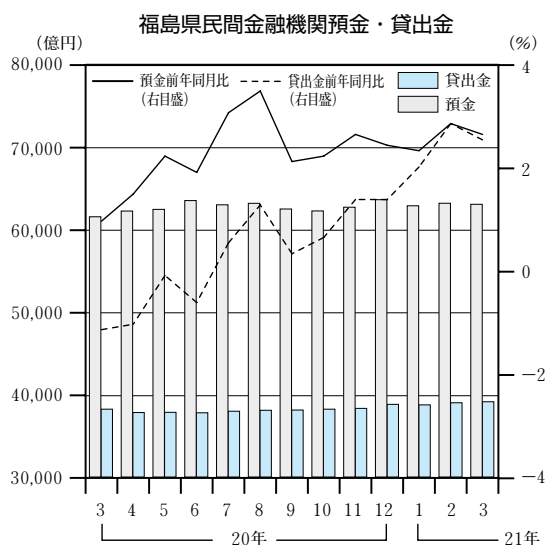
**資金需要** 県内金融機関(全国銀行、第二地銀、信用金庫、信用組合の県内店舗分)の3月末の預金残高は、6兆3,106億円（前年同月比+2.5%）と25ヵ月連続で前年を上回った。貸出金残高は、3兆9,140億円（同+2.4%）と9ヵ月連続で前年を上回った。

**保証協会** 3月の保証承諾は、件数が2,148件（前年同月比+52.1%）と4ヵ月連続、保証金額が260億16百万円（同+97.9%）と6ヵ月連続で前年を上回った。一方、代位弁済は、件数が112件（同△39.1%）、金額が9億61百万円（同△30.8%）と、それぞれ2ヵ月ぶりに前年を下回った。

—— 雇 用 動 向 ——

**雇用動向** 3月の新規求人数（原数値）は、9,155人（前年同月比△21.7%）と17ヵ月連続で前年を下回った。一方、新規求職申込件数（原数値）は、14,333件（同+33.4%）と7ヵ月連続で前年を上回った。

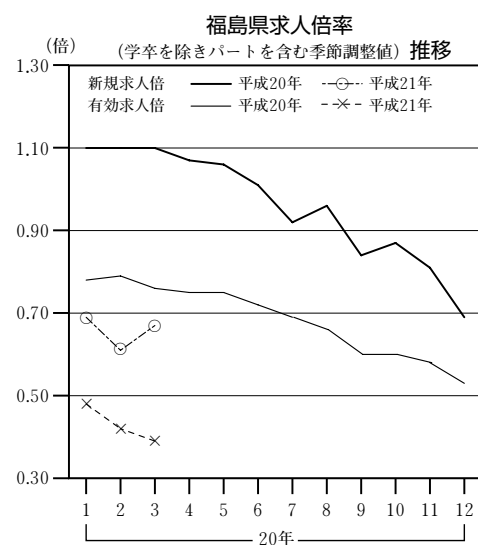
新規求人倍率（季節調整済、パート含）は、0.67倍と前月比0.06ポイント上回った。原数値は0.64倍（前年同月比△0.45%）と17ヵ月連続で前年を下回った。有効求人倍率（季節調整済、パート含）は、0.39倍（前月比△0.03%）と5ヵ月連続で前月を下回った。原数値は0.40倍（前年同月比△0.39%）と17ヵ月連続で前年を下回った。



(資料：日本銀行福島支店)



(資料：福島県信用保証協会)



(資料：福島労働局職業安定部)